



〈テクスチャーノンカット〉

工法

# 「貼る」クラック処理という新発想

外壁のクラック補修は「Uカット+シーリング充填」そんな固定概念はありませんか？しかし、Uカットシールは、手間がかかる、騒音・粉塵が出る・危険作業、後から仕上がりに影響が出るなど課題も多いのではないのでしょうか？

そんな時こそ、「貼る」クラック処理を使ってみませんか？とっても簡単・スピーディー、そしてもともとの仕上りの質感に馴染んで、非常に綺麗な外壁改修が可能です。

又、抜群の防水機能を発揮します。今までになかった、クラック補修の概念を変える新発想。

## 施工要領

※注：熱源であるヒータングガンを使用する為、万が一の発火に備えて  
手元に水を入れたバケツを用意して作業して下さい。

※注 クラック巾が1mm以上の場合は、事前にYGプライマーを塗布し  
YGコートをすり込んで乾燥させて置いて下さい。この時  
YGコートは無希釈のまま御使用下さい。  
テクスチャーの凸凹程度により、施工不可の場合があります  
御了承下さい。

下地処理 クラック部及び周辺を、高圧洗浄・又は溶剤拭き処理をする。

### 工程1. YGプライマー塗布

クラック部乾燥後、ウールローラーを用い  
YGプライマーをクラック部を中心に  
巾300mm程度塗布する。(m当たり 0.02~0.03kg)

### 工程2. YGテープ貼付

YGプライマー指触乾燥後、クラック部が  
YGテープ内に納まる様に、離型紙を剥がし  
ながら貼り付ける。この時、手の平で軽く  
押さえておく。その後ヒータングガンを用い  
熱風をYGテープに当てて柔軟にし、直ちに  
専用ローラーで、前後左右に転がし既存の  
柄(テクスチャー)に馴染ませて貼り付ける。

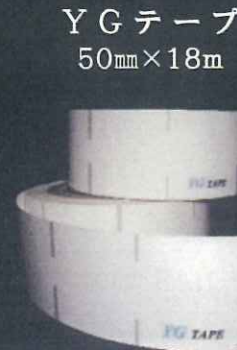
### 工程3. YGコート塗布

YGテープ貼付後、YGコートを砂骨ローラー  
を用い、YGテープの上を厚めに塗布し外側  
に行くに従って徐々に塗厚を少なくしてゆず肌  
模様を完成させる。(m当たり 0.1kg~0.15kg)

## 使用商品名・荷姿



YGプライマー 4kg



YGテープ  
50mm×18m

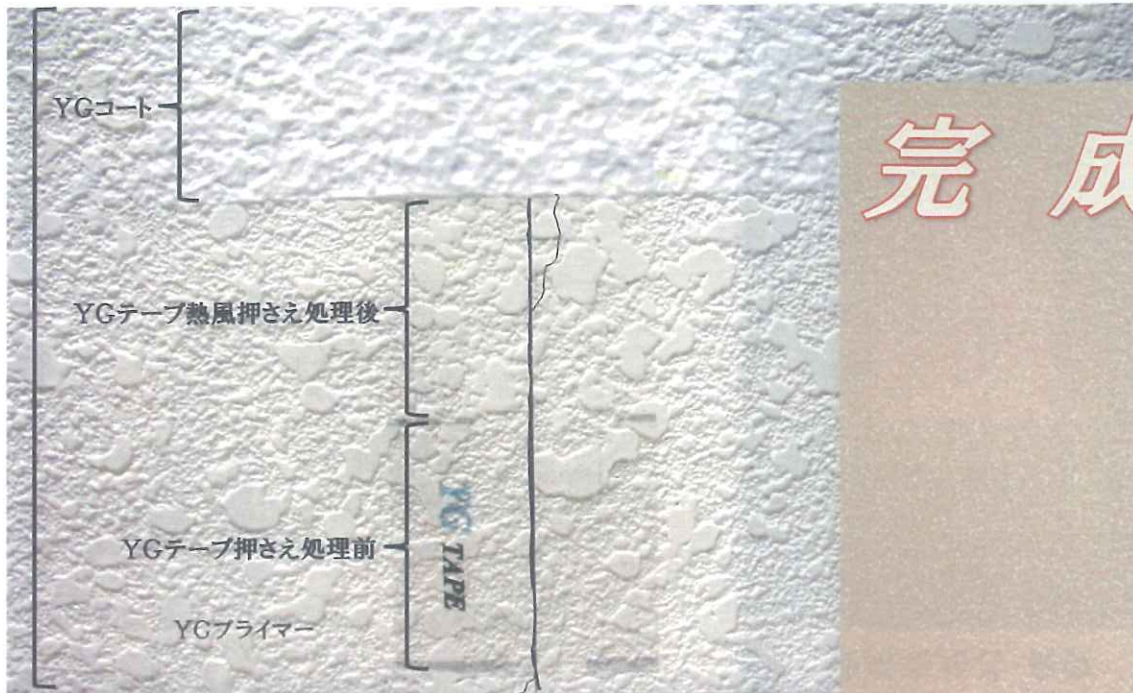


YGコート 18kg

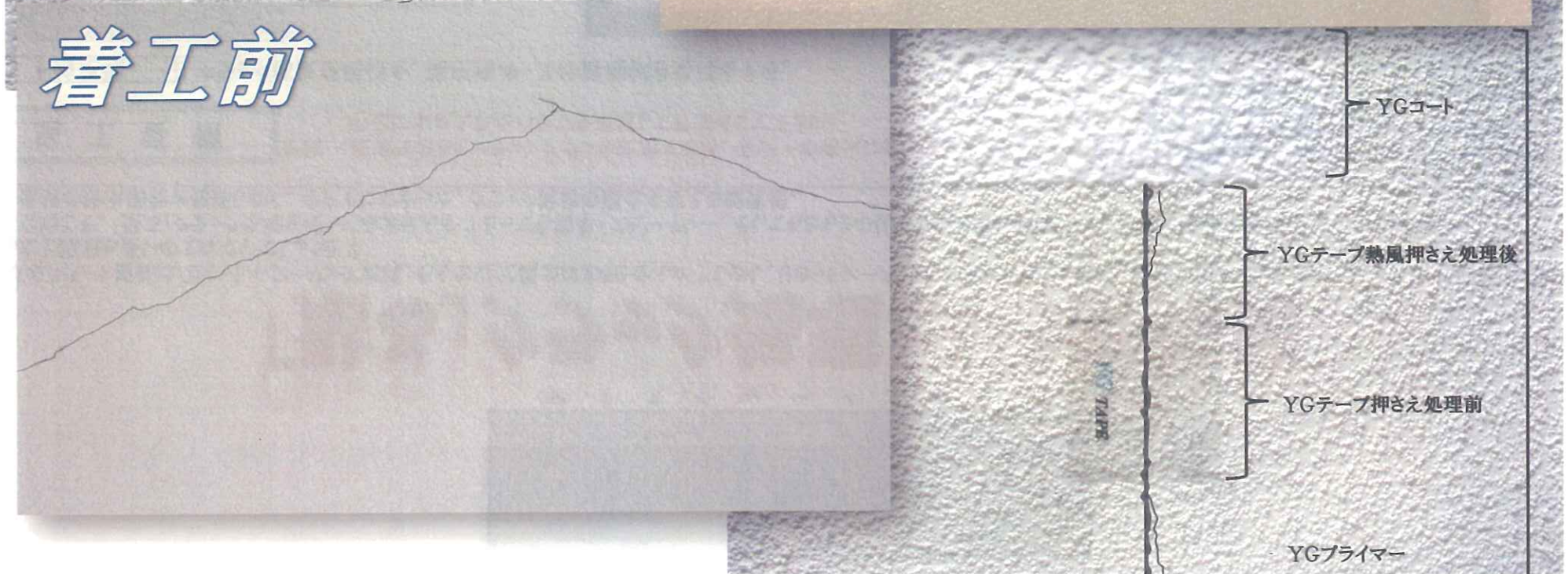
工程1~工程3でTNC工法は完了です



完成



着工前



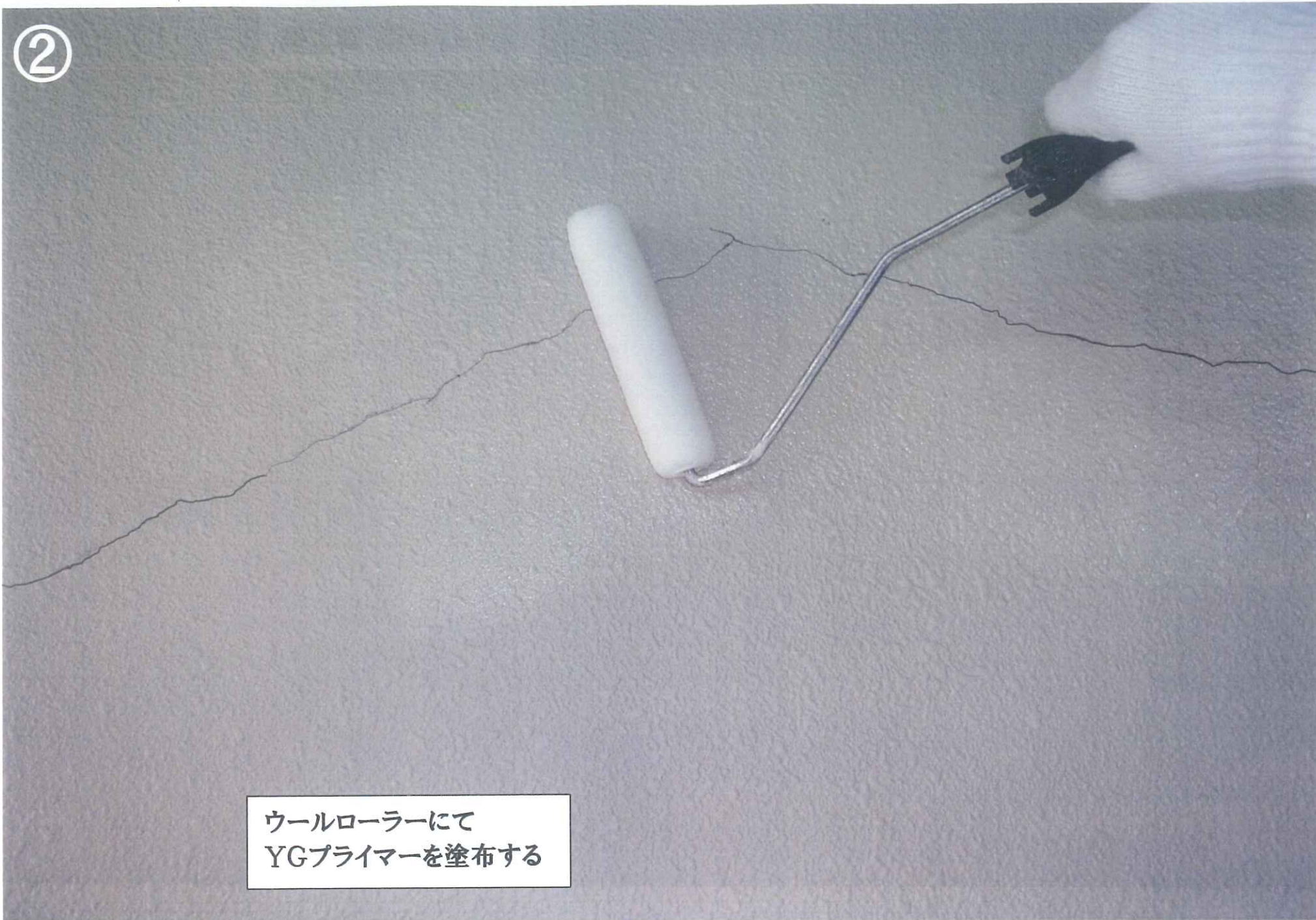


①

着工前、既存クラック



②



ウールローラーにて  
YGプライマーを塗布する




③



YGプライマー乾燥後  
離型紙を剥がしながら  
クラックがテープ内に  
納まる様貼って行く



④

A close-up photograph showing a person's hands in white gloves performing a repair. The left hand holds a blue heat gun, directing its nozzle towards a section of a wall. The right hand holds a white foam roller, which is being used to smooth a piece of tape onto the wall. The wall has a light-colored, textured surface. A horizontal crack is visible in the wall, and a piece of tape is being applied across it. The heat gun has a label with some text and a power switch. The roller has a green handle and a black grip.

ヒーティングガンを用い、熱風を  
YGテープに当てて柔軟にし  
直ちに専用ローラーで、前後左右  
に転がし既存の柄(テクスチャー)に  
馴染ませて貼り付ける



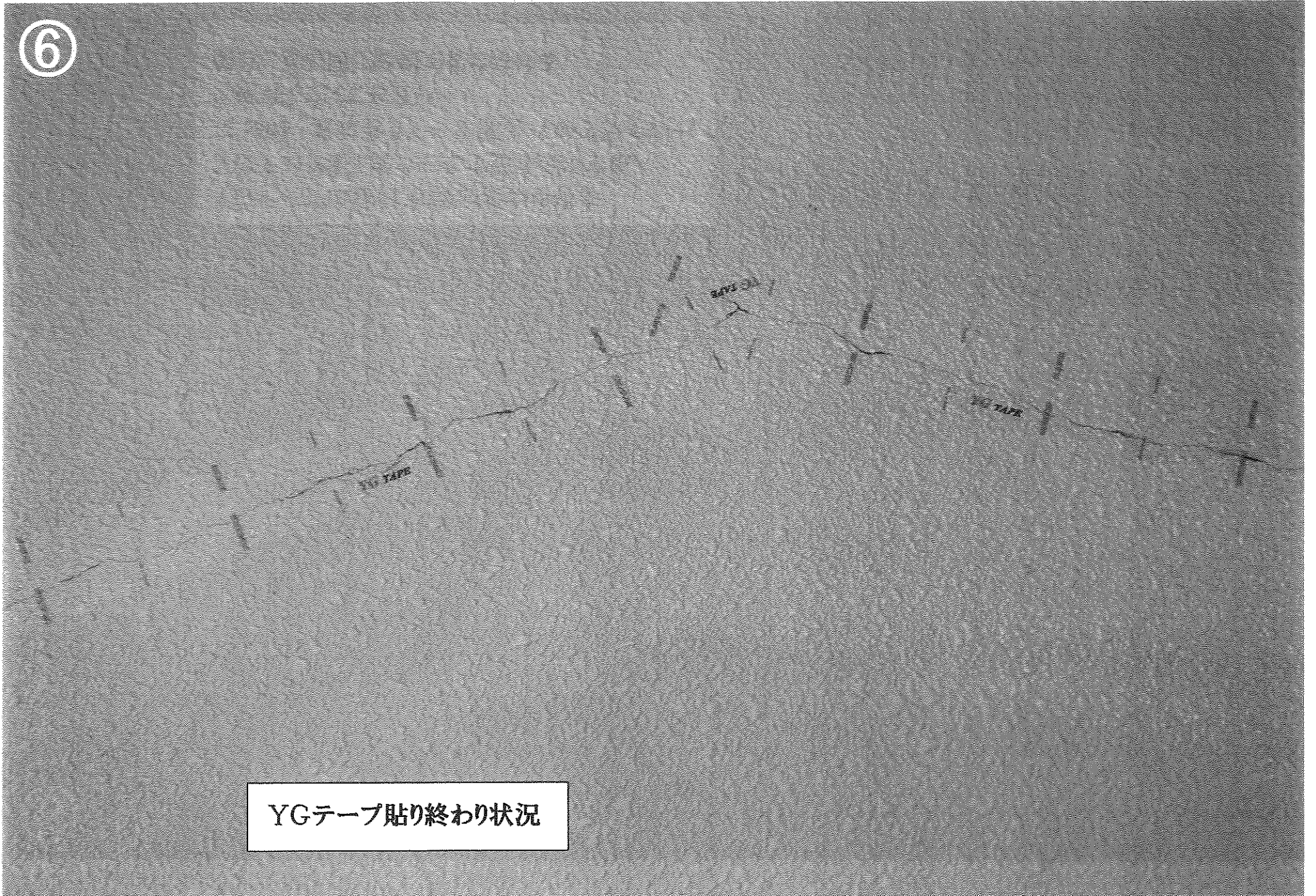
⑤



YGテープの貼付方向が変わる場合  
YGテープを1度カットして重ね貼りする。  
(この時、重ね合うテープ部分へのプライマー  
は塗布しなくても良い)  
後は、④と同じ要領で貼り付ける




⑥



YGテープ貼り終わり状況



⑦



YGコートを砂骨ローラーでYGテープの上から  
塗布し始め、YGテープ上を厚めに塗布し  
外側に行くに従って徐々に塗厚を少なくして行く



⑧

YGコートを砂骨ローラーで  
綺麗に塗布して完了

ここまでで、クラック処理TNC工法は  
完了です。  
次ページからは、塗装仕上げの工程の  
始まりとなります。




A

微弾性フィラーを、YGテープ上の  
YGコートを除けて砂骨ローラーにて  
配り塗りをする





B

A close-up photograph showing a person's hand wearing a white work glove with a yellow wristband, holding a metal frame with a cylindrical sand roller. The roller is being applied to a light-colored, textured wall. The roller is covered in a fine, granular material. The background wall has a similar texture but is slightly out of focus.

配り塗りが終わったら、砂骨ローラーに新たな微弾性フィラーは付けずに、砂骨ローラーで上下または、左右に転がし微弾性フィラーを繋げて行く



C

後は砂骨ローラーでゆず肌模様が綺麗になる様  
仕上げて行く。  
この様に塗る事により、YGテープ、YGコート  
処理部の厚みを目立たなくする事が出来る





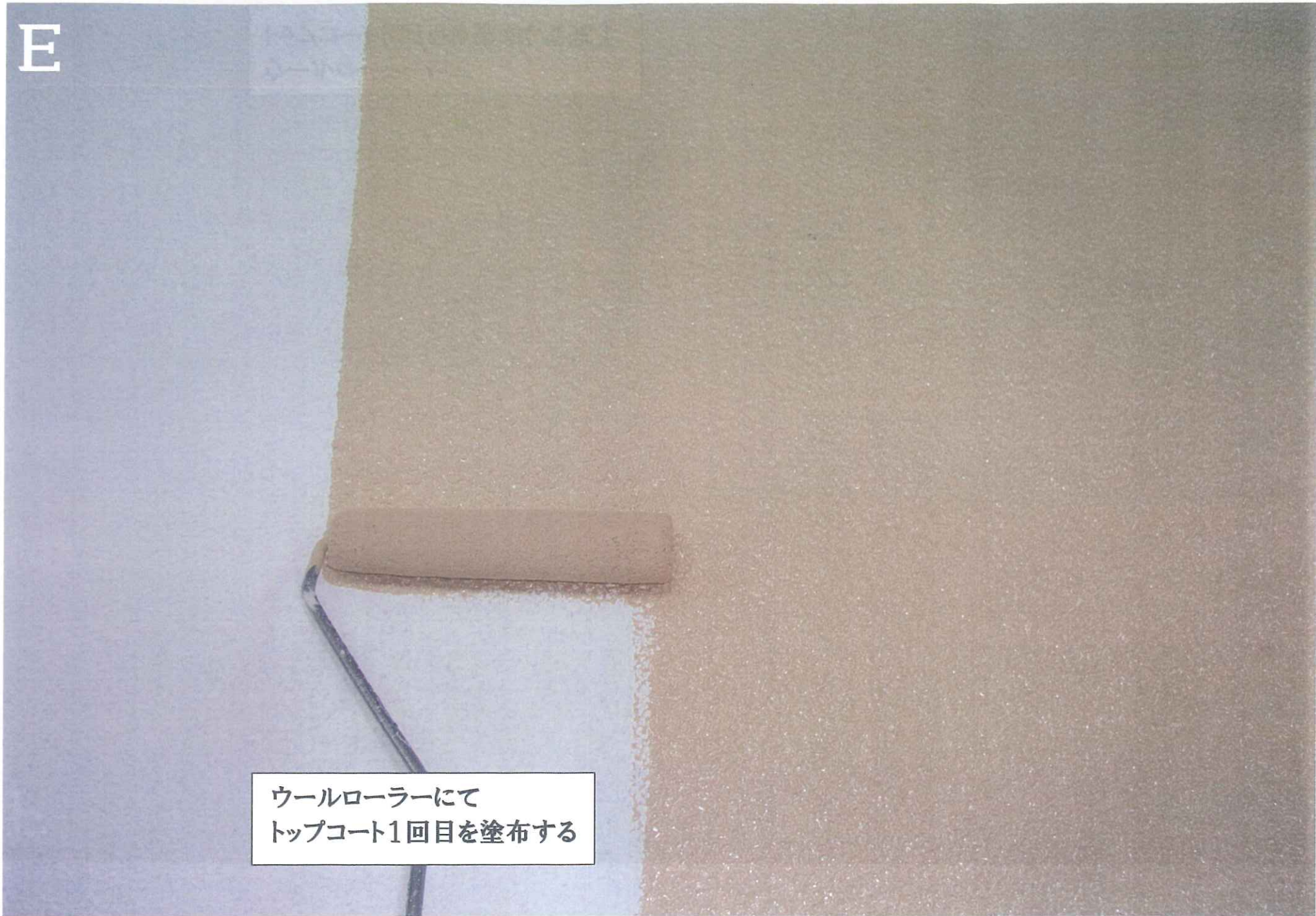
D

砂骨ローラーによる  
パターン付け完了



E

ウールローラーにて  
トップコート1回目を塗布する





F

ウールローラーにて  
トップコート2回目を塗布して完了





G

塗装仕上げ完成



TNC工法～塗装仕上げまでの

***SAMPLE***

見本

YG TAPE





FG TAPE

TNC工法～塗装仕上げまでの

**SAMPLE** 見本



・仕上りが微弾性フィラー(砂骨ローラー塗り)+トップコート仕上げ以外の  
例えば、プライマー+弾性タイル(砂骨ローラー塗り)+トップコート仕上げの  
場合も、当カタログのA~F塗装仕上げの工程通り仕上げる事により  
非常に綺麗に仕上がります。

・仕上げが薄膜仕上げ例えば、微弾性フィラーをウールローラーで  
フラット塗り+トップコート仕上げ等の場合は、TNC工法施工部が  
目立ちますので必ず砂骨ローラーで各種主材をゆず肌仕上げ  
または、スチップル仕上げ等にして下さい。

## スターターキット(1箱に各1個入ってます)



白光株式会社  
ヒータングガン  
883-13



比較的平滑面用  
YGテープ転圧  
ウールローラー



粗面用  
転圧ローラー  
(風神ローラー)



消火用小型ボンベブロックショット

ヒーター、ローラー関係は上記を必ず使用して下さい。  
砂骨ローラー、プライマー用ウールローラーは  
市販の4インチ~6インチを使用頂きます。

開発・製造元

**株式会社 ヤグチ技工**

本社 〒419-0107 静岡県田方郡函南町平井602-1  
TEL.055-979-4565 FAX.055-978-6150  
E-mail:info@891.co.jp

横浜支店 〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町533  
TEL.045-961-8101

URL <http://www.891.co.jp>